

州政府が拠出する 2016 年度の高等教育予算、全米平均で前年度比 4.1%増（1 月 25 日）

イリノイ州立大学（Illinois State University）の教育政策研究センター（Center for the Study of Education Policy）と州高等教育経営責任者協会（State Higher Education Executive Officers Association：SHEEO）は、州政府の高等教育予算に関する年次報告「州政府による高等教育に対する財政支援に関するデータの年次集計（Annual Compilation of Data on State Fiscal Support for Higher Education）」を発表した。これによると、2016 年度に州政府が拠出する高等教育予算は、2015 年度と比較して全米平均で 4.1%増であることが明らかとなった。また、予算がまだ確定していないイリノイ州とペンシルバニア州を除く 48 州のうち、39 州において前年度よりも高等教育予算が増加しており、前年度から減少している州は 9 州のみとなっている。前年度比増加率の幅は、ケンタッキー州の 0.1%増からオレゴン州の 16.2%増となっている一方、同減少率の幅は、ニュージャージー州の 0.1%減からアリゾナ州の 14%減となっている。また、2016 年度の高等教育予算が 2011 年度レベルを下回る州は全部で 15 州であるが、2015 年度に同予算が 2010 年度レベルを下回っていた州が 25 州であったことから、ここでも状況改善が見られる。なお、イリノイ州とペンシルバニア州の予算が確定すると、両州の予算規模は非常に大きいことから、全米での結果にも影響を与えるものと考えられる。

本報告の詳細は、<<http://education.illinoisstate.edu/grapevine/>>から閲覧可能。

Inside Higher ED, State Support on the Rise

<https://www.insidehighered.com/news/2016/01/25/state-support-higher-education-rises-41-percent-2016>